

平成29年2月3日

学位論文審査並びに最終試験結果報告書

大学院歯学研究科長 殿

主査	教授	永易	裕樹
副査	教授	齊藤	正人
副査	教授	家子	正裕
副査	准教授	荒川	俊哉



今般 中條 貴俊 にかかわる学位論文審査並びに最終試験を行い下記の結果を得たので報告する。

記

1 学位論文題目

口腔扁平苔癬における E-cadherin, β -catenin, p16^{ink4a}, MGMT のメチル化解析

2 論文要旨 別添

3 学位論文審査の要旨 別添（様式第12号）

4 最終試験の要旨 別添（様式第13号）

以上の結果 中條 貴俊 は博士（歯学）の学位を授与する資格のあるものと判定する。

学位論文審査の要旨

主査	教授	永易	裕樹
副査	教授	齊藤	正人
副査	教授	家子	正裕
副査	准教授	荒川	俊哉



氏 名 中條 貴俊

学位論文題目

口腔扁平苔癬における E-cadherin, β -catenin, p16^{INK4a}, MGMT のメチル化解析

以下本文

本原著論文は、口腔扁平苔癬におけるDNAメチル化の状態を明らかとするために上皮接着関連分子である E-cadherin、 β -catenin、がん抑制遺伝子である p16^{INK4a} および DNA 修復遺伝子である MGMT のプロモータ領域のメチル化の状態について MSP 法を用いて非炎症性組織、歯根嚢胞、口腔扁平上皮癌との比較をし、免疫組織学的にも比較検討したものである。特に口腔扁平苔癬では、E-cadherin、 β -catenin、MGMT のプロモータ領域に高メチル化が認められ、その発症に関与することを明らかとしている。これまで口腔扁平苔癬の発症とメチル化の関係を明らかにした報告は少なく、本論文は学位論文に相応するものと審査した。

最終試験（学力の確認）の要旨

主査	教授	永易	裕樹
副査	教授	齊藤	正人
副査	教授	家子	正裕
副査	准教授	荒川	俊哉



氏 名 中條 貴俊

以下本文（10行目から200字以内）

審査委員会において、最終試験を行い申請者の学力の確認を行ったところ、学位論文に関する十分な知識と研究遂行能力を有すると認めた。以上の結果、博士（歯学）の学位を授与するに値するものと判定した。